

【試合結果】

男子 決勝トーナメント 準決勝													
日時	平成29年12月28日(木) 10:20 ~												
会場	湿原の風アリーナ釧路A												
結果	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="text-align:center; width:50%;">○ 帯広翔陽中 帯広</td> <td style="font-size:3em; vertical-align:middle;">}</td> <td style="text-align:center; width:50%;">● 滝川江陵中 北空知</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center; font-size:2em;">68</td> <td></td> <td style="text-align:center; font-size:2em;">40</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="font-size:2em; vertical-align:middle;">{</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align:center;"> 13 - 16 21 - 4 17 - 8 17 - 12 OT </td> <td></td> </tr> </table>	○ 帯広翔陽中 帯広	}	● 滝川江陵中 北空知	68		40		{			13 - 16 21 - 4 17 - 8 17 - 12 OT	
○ 帯広翔陽中 帯広	}	● 滝川江陵中 北空知											
68		40											
	{												
	13 - 16 21 - 4 17 - 8 17 - 12 OT												
審判	主審 伊藤 浩司 副審 合田 涼将												

第32回北海道中学校バスケットボール新人大会



【ボックススコア】

帯広翔陽中		帯広						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	藤澤 新	×	6	0	3	0	4	4
5	寒川 敬太	×	22	6	2	0	3	1
6	村上 怜央	×	6	0	2	2	3	3
7	五十嵐 怜	×	0	0	0	0	0	3
8	酒井 蓮	×	6	0	3	0	1	1
9	藤澤 礼音	/	0	0	0	0	0	0
10	徳野 仁	/	0	0	0	0	0	0
11	奥山 聖生	DNP	0					
12	池田 悠人	DNP	0					
13	金井 良太	DNP	0					
14	藤井 遙海	DNP	0					
15	佐々木 翔	DNP	0					
16	0	DNP	0					
17								
18	0	DNP	0					
HC	小笠原 良祝							
合計			40	6	10	2	11	12

滝川江陵中		北空知						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	小笠原 紫礼	×	15	0	4	7	2	1
5	丸山 雄大	×	13	0	6	1	6	1
6	西迫 伯瑛	×	9	0	4	1	8	0
7	野崎 海斗	×	20	2	7	0	1	2
8	松本 太陽	×	11	3	1	0	0	0
9	渡利 颯斗	/	0	0	0	0	0	0
10	下野 裕希	DNP	0					
11	鈴木 翼	/	0	0	0	0	0	0
12	0	DNP	0					
13	加賀 隆留	/	0	0	0	0	0	0
14	中原 壘	DNP	0					
15	安部 光	DNP	0					
16	0	DNP	0					
17								
18	0	DNP	0					
HC	成田 貴幸							
合計			68	5	22	9	17	4

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

男女ともに決勝進出を狙う帯広翔陽と順当に勝ち上がってきた滝川江陵の戦い。スタートはともに#4、5、6、7、8のハーフコートマンツーマンで静かな立ち上がり。翔陽は#5の連続3P、江陵も#5、7のドライブで応酬。一進一退の攻防が続く。ともにサイズはないものの個々のオフェンス能力が高く、16-13の翔陽3点リードで1Qを終了。2Q目、江陵は#7・8の連続3Pなどで逆転。5連続得点で23-16とする。翔陽はオフェンスが単発になり、流れを引き戻せない。江陵が28-18と点差を2桁にしたところで翔陽はたまたまずタイムアウト。しかし流れは変わらず、江陵は#4のオフェンスリバウンド、#5のドライブと的を絞らせない。結局前半は34-20の江陵リードで折り返す。

後半、翔陽は#5の3Pでスタート。しかし江陵も#5のポストアップや#7の1対1、またリバウンドを終始支配し、リードを広げる。残り2分で翔陽がやや集中力が途切れたところで江陵は一気にたたみかけ、49-28。この試合初の20点差となり、翔陽はたまたまずタイムアウト。そのまま流れは変わらず51-28で3Q目を終了。

4Q目、翔陽はディフェンスのプレッシャーを強め、ボールを奪いに行くが、江陵は落ち着いてボールを展開し、相手の流れに乗らない。終始落ち着いて正しくゲームを進めた滝川江陵が68-40で勝利。決勝進出を果たした。